



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 リズム時計工業株式会社

コード番号 7769 URL <http://www.rhythm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠間 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 奥田 伸一郎

TEL 048-643-7213

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,020	37.4	609	276.4	742	191.0	438	732.3
24年3月期第1四半期	5,836	△13.1	162	△49.0	255	△31.9	52	△49.1

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 276百万円 (426.7%) 24年3月期第1四半期 52百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.54	—
24年3月期第1四半期	0.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	38,612	31,134	80.6	251.81
24年3月期	40,236	31,167	77.5	252.07

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 31,134百万円 24年3月期 31,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	29.5	1,000	207.9	1,100	186.7	650	278.2	5.26
通期	32,200	9.5	1,500	9.1	2,000	18.0	1,100	8.9	8.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年8月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) |

25年3月期1Q	132,178,939 株	24年3月期	132,178,939 株
25年3月期1Q	8,538,054 株	24年3月期	8,535,434 株
25年3月期1Q	123,641,665 株	24年3月期1Q	122,699,866 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、景気は依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあります。一方で、海外経済は、ヨーロッパ地域の一部の国々における財政の先行き不安の高まりを背景とした金融面への影響、中国・東南アジアでは内需が伸び悩む中で景気の拡大のテンポは以前と比べ緩やかになるなど、下振れするリスクも含んでおります。

このような状況の中、当社グループは収益基盤の強化とともに売上高の拡大に取り組んでおります。時計事業は、クロック販売では、新型の販売やギフト商品の売上が好調に推移し、海外販売や非クロック製品の売上拡大と併せ増収となり、収益改善策の効果や円高の影響などにより増益となりました。電子事業は、後方監視用カメラを中心とした映像機器分野の売上が好調に推移し増収となり、増収効果、原価率改善の影響などにより、営業利益は前年同期に比べ増益となりました。プレジジョン事業は、前年3月に発生しました大震災の影響から落ち込んでおりました受注がやや回復し、増収、増益となりました。接続端子事業は、海外における販売は堅調に推移しておりますが、国内においては回復は遅れております。

以上のことから、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は80億20百万円となり前年同期58億36百万円に対し37.4%の増収となりました。営業利益は、6億9百万円となり前年同期1億62百万円に対し276.4%の増益となりました。経常利益は7億42百万円となり前年同期2億55百万円に対し191.0%の増益となりました。これらに、投資有価証券評価損1億52百万円を計上するなどした結果、四半期純利益は4億38百万円となり前年同期52百万円に対し732.3%の増益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①時計事業

クロックの国内販売は、新型の販売やギフト商品の売上が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。非クロックの販売は、前期に引き続き防災行政ラジオ、温湿度計、当期より販売いたしましたUSBファンの販売が好調に推移し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。海外販売は、北米では新規顧客への販売活動などにより、その他の地域においても現地代理店と販売プロモーションを実施するなど積極的な販売活動を行い、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

この結果、時計事業全体としては、増収となりました。利益の面におきましては、増収効果、原価の改善、販売コストの削減など継続的に推進しております収益改善策及び円高の影響などにより、営業利益は前年同期に比べ増益となりました。

以上のことから、時計事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は31億59百万円となり、前年同期26億77百万円に対し18.0%の増収となりました。営業利益は4億88百万円となり、前年同期1億90百万円に対し156.1%の増益となりました。

②電子事業

電子事業におきましては、新たな取引先の開拓の他、グループの技術を活かした商品開発や顧客企業に企画提案を積極的に行い、業容の拡大に努めてまいりました。情報機器分野では市場の回復の遅れにより売上高は前年同期に比べ減収となりましたが、後方監視用カメラを中心とした映像機器分野の売上が好調に推移いたしました。

この結果、電子事業全体としては増収となりました。利益の面におきましては、増収効果、原価率改善の影響などにより、営業利益は前年同期に比べ増益となりました。

以上のことから、電子事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は18億9百万円となり、前年同期16億94百万円に対し6.8%の増収となりました。営業利益は74百万円となり、前年同期23百万円に対し212.7%の増益となりました。

③プレジジョン事業

プレジジョン事業におきましては、顧客企業に対し積極的に企画提案を実施し、海外展開および新規顧客開拓に注力し事業の拡大に努めております。前年3月に発生しました大震災の影響から落ち込んでおりました受注が回復し、プレジジョン事業全体としては増収になりました。利益の面におきましては、増収効果などにより、営業利益は前年同期に比べ増益となりました。

以上のことから、プレジジョン事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は16億41百万円となり、前年同期12億85百万円に対し27.6%の増収となりました。営業利益は39百万円となり、前年同期46百万円の損失に対し86百万円の増益となりました。

④接続端子事業

接続端子事業は、海外における販売は堅調に推移しておりますが、国内においては回復は遅れております。

以上のことから接続端子事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は12億18百万円、営業利益は96百万円となりました。（前年同期は当社グループでないため前年同期比較はいたしません。）

⑤その他

物流事業、介護事業等その他の事業におきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億92百万円となり、前年同期1億78百万円に対し7.6%の増収となりました。営業利益につきましては、20百万円となり前年同期18百万円に対し13.2%の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は386億12百万円となり、前連結会計年度末402億36百万円に比べて16億23百万円減少しました。流動資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ11億21百万円減少しました。固定資産は投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べ5億2百万円減少しました。

(負債)

負債合計は74億78百万円となり、前連結会計年度末90億69百万円に比べ15億90百万円減少しました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ14億92百万円減少しました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ98百万円減少しました。

(純資産)

純資産合計は311億34百万円となりました。前連結会計年度末に比べ、評価・換算差額の減少などにより、32百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本日（平成24年8月8日）発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,967	6,624
受取手形及び売掛金	8,874	8,287
有価証券	2,500	2,500
たな卸資産	5,670	6,351
その他	754	881
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	25,761	24,640
固定資産		
有形固定資産	5,395	5,315
無形固定資産		
のれん	1,636	1,593
その他	928	937
無形固定資産合計	2,565	2,531
投資その他の資産		
投資有価証券	4,643	4,286
その他	2,005	1,973
貸倒引当金	△134	△134
投資その他の資産合計	6,513	6,125
固定資産合計	14,474	13,972
資産合計	40,236	38,612
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,803	4,169
短期借入金	1,000	—
未払法人税等	668	225
賞与引当金	222	195
その他	1,834	1,445
流動負債合計	7,528	6,036
固定負債		
退職給付引当金	544	547
役員退職慰労引当金	30	25
その他	966	868
固定負債合計	1,541	1,442
負債合計	9,069	7,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,372	12,372
資本剰余金	15,951	15,951
利益剰余金	3,915	4,044
自己株式	△1,196	△1,196
株主資本合計	31,043	31,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	318
為替換算調整勘定	△341	△356
その他の包括利益累計額合計	123	△38
純資産合計	31,167	31,134
負債純資産合計	40,236	38,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	5,836	8,020
売上原価	4,244	5,644
売上総利益	1,592	2,375
販売費及び一般管理費	1,430	1,766
営業利益	162	609
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	59	62
出向収入	—	5
受取賃貸料	56	53
信託収入	49	46
その他	19	29
営業外収益合計	194	203
営業外費用		
支払利息	3	6
出向費用	14	—
賃貸費用	24	21
信託費用	16	11
為替差損	35	27
その他	7	3
営業外費用合計	100	70
経常利益	255	742
特別利益		
固定資産売却益	1	97
その他	—	6
特別利益合計	1	104
特別損失		
固定資産処分損	—	0
投資有価証券評価損	58	152
特別損失合計	58	153
税金等調整前四半期純利益	198	694
法人税、住民税及び事業税	106	238
法人税等調整額	39	17
法人税等合計	145	256
少数株主損益調整前四半期純利益	52	438
四半期純利益	52	438

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	52	438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	△146
為替換算調整勘定	△42	△14
その他の包括利益合計	△0	△161
四半期包括利益	52	276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52	276

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジジョン 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,677	1,694	1,285	5,657	178	5,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	74	100	186	257	443
計	2,689	1,768	1,386	5,844	435	6,280
セグメント利益又は損失(△)	190	23	△46	167	18	185

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	167
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去	8
全社費用(注)	△51
棚卸資産の調整額	19
四半期連結損益計算書の営業利益	162

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	時計事業	電子事業	プレジ ジョン事業	接続端子 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,159	1,809	1,641	1,218	7,828	192	8,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	4	74	—	95	266	362
計	3,175	1,813	1,716	1,218	7,923	458	8,382
セグメント利益	488	74	39	96	699	20	719

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び介護事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	699
「その他」の区分の利益	20
セグメント間取引消去	26
全社費用(注)	△77
棚卸資産の調整額	△58
四半期連結損益計算書の営業利益	609

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。